

山形大学 YAMAGATA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION 校友会会報

16
OCTOBER 2020

全国教育系大学剣道連



第52回全国教育系大学剣道大会(2020年2月)
剣道部男子団体の部で初優勝!!

Contents

校友会 NEWS 2

障がい学生に特化したキャリア支援事業
地域の未来を担う公務員志望学生に特化した
早期自己開発キャリア支援
公認サークルへの支援事業
～剣道部の活動を紹介します～
「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」に加入しています

令和元年度校友会支援・主体事業の紹介 ... 4

各学部の同窓会組織の活動..... 6

INFORMATION 8

校友会学生幹事主催「山大学生の活動支援プロジェクト(Ⅲ)」
活動成果発表会



活動成果発表会に参加された皆さん

校友会とは...

校友会は、山形大学の発展に寄与するため、学生の学業及び課外活動等への助成並びに全学的なキャンパス間の交流活動に支援を行うとともに、会員相互の親交を図り、「山形大学コミュニティ」の醸成・強化に資することを目的としております。

| 校友会 | NEWS |

1 障がい学生に特化した キャリア支援事業



障がいのある社会人との懇談会

山形大学障がい学生支援センターでは、平成29年度より「障がい学生に特化したキャリア支援」を実施しています。

今回はこれまでの実施内容をご紹介します。

①障がいのある社会人との懇談会（平成30年9月）

障がいのある学生が卒業後を見据えながら自身のキャリアを考えていくためには、同じ障がいのあるロールモデルとの出会い、存在がとても重要です。そこで、運動障がいのある社会人、聴覚障がいのある大学院生を招き、本学障がい学生とそれぞれ懇談する機会を設けました。

参加した学生からは、「自分ではできないと思っていたことでも『工夫や訓練をすればできるんだ』と知り、一人暮らしや就職についてこれから前向きに考えていきたい」、「自分が今まで悩んでいたことや周囲への要望を言葉にまとめてくれ、自分の気持ちをわかってくれる存在に出会い泣きそうになった、勇気がわいた」という声が聞かれました。

実際に参加した学生はそれぞれ、自身のキャリア形成や就活に限界を設けず、前向きに取り組んでいます！

②発達障がい学生を対象とした就活準備講座 （平成30年2月、平成31年2月、令和2年2月）

発達障がいの特性のある学生たちは、就活の見通しが持てず不安を抱えています。

そこで、発達障がいに特化して就労移行支援を行う「株式会社Kaizen」に講師を依頼し、発達障がい学生を対象とした就活準備講座を毎年開催しています。

講座では、実際にパソコンを使い、架空の業務を行うことを通して仕事力を測ったり、どういった作業が得意なのか、どういった作業や環境は苦手なのか、それを補うためにはどう工夫したり、配慮を依頼するとよいか等、自身の強み・弱みを知るプログラムを行っています。そのほか、学生のニーズに合わせて、自己分析や面接練習など、就活に必要な具体的なプログラムも実施しています。

参加学生からは、「自分だけが悩んでいるわけではないんだ・・・」「自分の得意な分野と苦手な部分を知ることができた。今後は苦手なところを意識して取り込んでいきたい。」などの感想があげられました。

この事業により、障がい学生は自己や障がいについて理解を深め、キャリア意識の形成や就活に前向きに取り組み、実際に就職につながっているケースもみられています。

今後は、キャリアサポートセンターとの連携をさらに強化し、障がい学生それぞれのニーズに応じた支援を引き続き実施していきます。

障がい学生支援センター担当



全体の様子



仕事力を測定する様子

2 地域の未来を担う公務員志望学生に 特化した早期自己開発キャリア支援



講座の様子

令和元年12月16日（月）に小白川キャンパスにおいて、公務員への就職を志望する学部3年生・修士1年生を対象とした「公務員志望者向け人物対策講座」を開講しました。

この講座では、公務員試験対策は筆記試験だけではなく、二次試験で行われる面接試験（人物試験）もとても重要であることを踏まえて、公務員志望学生に対する指導の経験が豊富な講師を招き、面接試験で記入を求められる面接カードの書き方やポイント等を詳しく解説していただきました。（米沢キャンパス及び鶴岡キャンパスでは小白川での講座の様子を録画し録画上映で実施しました。）

また、講座では【面接カード】を配付し、講座で学んだことを踏まえて実際に面接カードを作成・提出しました。提出した面接カードは講師の添削後に返却され、受講生は講座の内容を復習するとともに、専門家からの評価を個別に受けることができる貴重な機会となりました。

参加学生からは、「公務員模試の受験を直前に控える時期に、二次試験（面接試験）の重要性を改めて再認識することができた」、「面接カードを実際に添削して貰うことで、自己分析や政策研究がまだまだ足りないことが分かった」などの意見が寄せられました。

多くの公務員志望学生が参加し、早期に人物試験対策を行ったことで、具体的に今後どのような準備が必要になるかを知ることができ、余裕を持って筆記試験の勉強が進められるようになったことに加えて、「勉強ありき」の公務員志望から「志望動機や将来の目標を明確に設定」した上での公務員志望となり今後の試験対策に対する心構えの転換が期待できる有意義な講座となりました。

<各キャンパスの参加人数>

令和元年12月16日（月）：小白川キャンパス（95名受講）

令和元年12月20日（金）：鶴岡キャンパス（16名受講）

令和元年12月24日（火）：米沢キャンパス（20名受講）

小白川キャンパス事務部 学生・キャリア支援課就職担当



面接カード作成のための自己分析の様子



公務員 人物対策講座
ポスター

令和元年度に実施した事業の中から、特徴ある4つの事業を紹介します。

3 公認サークルへの支援事業 ～剣道部の活動を紹介します～



東北学生剣道選手権大会

剣道部は現在、全国大会に出場し、全国の舞台で勝つことを目標に山形大学地域教育文化学部の教授である竹田隆一先生のご指導の下、日々練習に励んでいます。

昨年は、東北地区総合体育大会では、男子団体三位、女子団体三位という好成績を収め、個人の部の東北学生剣道選手権大会において人文社会科学部3年の柏倉拓人が三位になり、地域教育文化学部4年の菅野澤と理学部4年の後藤颯が全国大会に出場しました。また、全国教育系大学学生大会では、52年の歴史のある大会で初の優勝を収めることができました。

剣道部はただ剣道をするのではなく、国際交流や地域貢献活動にも力を入れており、昨年は3名の部員が竹田先生と共にフィンランドへ渡り、ヨーロッパ各地の剣道の選手と合宿や剣を交えて交流を深めました。地域貢献活動としては、県内の中学生を招いた威勢杯争奪剣道大会を主催するなどして地域の活性化、技術の向上を目指して活動を行っています。

<代 表>地域教育文化学部 地域教育文化学科
3年 福田 直人
<広報担当>人文社会科学部 人文社会科学科
3年 柏倉 拓人



記者会見で報告



フィンランドの方々との交流

4 「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」に加入しています



山形美術館

平成28年度からスタートした「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」は、学生の芸術鑑賞を推奨している大学等が加入の対象となっており、県内の大学等で加入しております。本学でも校友会支援事業のご協力をいただき、平成28年から引き続き本年度も加入しております。

本学では、「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」への加入の目的として、学生個人での利用や実習・美術関係の授業でも利用可能であること、さらに、山形美術館では常設展示のほか、企画展や特別展など多くの展示が行われていることから、美術品・芸術作品を鑑賞することで、本学学生の幅広い教養と豊かな人間性を身につけることも期待されることがあげられます。

この「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」は、山形美術館での校外授業や鑑賞会などの実施が可能な協力体制となっており、本学学生は学生証を提示することで入館が無料になり、授業等の引率・指導で同行した教職員も身分証明書を提示することで同様に無料になります。

本学では各キャンパスへのチラシの配布や電子掲示板及びホームページへの掲載などで利用促進を図っており、一般入館での利用もありますが、美術館での作品鑑賞を推奨している授業もあることから、例年多くの学生や教職員の皆さんにご利用いただいております。

令和元年度は、655名の方にご利用いただきました。

本年度も「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」をぜひご利用ください。

小白川キャンパス事務局 総務課総務担当



学内向けチラシ

校友会支援・主体事業の紹介

修学支援事業

- 校友会推薦図書コーナー
「後輩には是非、こんな本を読ませたい!」
- 山形大学校友会大学院学生表彰制度
- 英語合宿
- ◎ 「山形美術館を活用した学生の学習支援事業」

学生個人での利用や実習・美術関係の授業でも利用可能で、美術品・芸術作品を鑑賞することで、幅広い教養と豊かな人間性を身につけることが期待されます。
令和元年度は655名の入場者でした。



これまで疑問に感じていたことを多くの参加者と議論することができました。

グローバル化支援事業

- 大学間交流協定大学への短期派遣留学生
校友会支援事業
- 新興国学生大使派遣プログラム
- ◎ 「博士課程学生研究発表奨励事業」

各研究科の学生の研究活動を奨励するために、国内外で開催される国際学会等において研究成果の発表を行う大学院学生に対して、支援金を助成しています。
元年度は63名に交付しました。

課外活動支援事業

- 山形大学・米沢栄養大学・米沢女子短期大学
雪合戦大会
- 公認サークルへの支援
- ダンスin農場フェスティバル
- ビーチサッカー大会in庄内
- ◎ 「各キャンパス大学祭&
新入生歓迎フェスティバルへの支援」

各キャンパス大学祭実行委員会を中心に情報交換するとともに、大学祭実施経費、大学祭合同企画、大学祭パンフレット等への支援と小白川キャンパスの新入生歓迎フェスティバルへの支援を行いました。



山形大学を身近に感じていただける機会が、幅広い年代の方々に楽しんでいただきました。

令和元年度に実施した校友会支援及び校友会主体事業の一部を紹介します。

就職活動支援事業



今まで知らなかった多くの企業について知ることができました。

- 障がい学生に特化したキャリア支援
- 合同企業説明会参加学生への就活応援セット提供と卒業後の校友会支援の周知
- 地域の未来を担う公務員志望学生に特化した早期自己開発キャリア支援
- 本学OB・OGから学ぶ業界・仕事研究セミナー
- ◎「学生によるキャリアCaféの運営」

山形大学OB・OGがキャンパスを訪れ、後輩学生に対して山形企業の魅力を語り、地元で働く意義を伝える場を提供する支援を3回行いました。

大学・社会貢献活動支援事業

- 学生による地域の課題解決支援プログラム
- 科学で東北を盛り上げ隊
- 子どものまち・いしのまき復興支援事業
- 山大学生による山形大学のための情報発信プロジェクト
- ◎「オペラの教育機能を活用した《附属校との協働》及び《高大連携事業》の推進」

オペラ研究会 YCM が構築した【総合芸術としてのオペラの教育プログラム】を活用し、《地域の生涯音楽学習の推進》を図り、本学の教育・研究の成果を地域に還元した取り組み（13回）に支援を行いました。



附属学校の子供たちに音楽の楽しさを伝えるとともに保護者の皆さまに山形大学の教育活動の成果の一端を披露できました。

会員相互の交流支援事業



- 校友会会員となった新入生への入会記念品の贈呈
- 若手卒業生の組織化支援
- 校友会「学生幹事」による校友会PRと自主的な活動支援
- 卒業生の「人材バンク登録事業」を活用した学生支援事業
- ◎「卒業生と大学・学生との連携推進事業」

山形大学卒業生等首都圏ネットワーク総会、山形大学OB&OGセミナーをはじめ各学部同窓会組織が全国で活発に活動しております。卒業生は元より現役学生も気軽に参加してみたいかがでしょうか。先輩方から大歓迎されます。

令和元年度ふすま同窓会総会・懇親会

5月11日（土）にホテルメトロポリタン山形にて開催された「令和元年度ふすま同窓会総会・懇親会」に出席しました。

約50名が出席した総会では、野村一芳会長のあいさつの後、来年10月24日開催の「百年記念祭」の準備状況報告があり、平成30年度事業・決算報告、令和元年度事業計画（案）、令和元年度予算（案）等について審議されました。

引き続き行われた懇親会では、山形大学の阿部宏慈理事・副学長、人文社会科学部の清塚邦彦学部長・西上勝副学部長、理学部の大西彰正学部長・金井塚勝彦副学部長のほか、札幌、仙台、東京、北陸、関西の各支部からあいさつがありました。後半には“恒例”の寮歌合唱があり、終始賑やかな懇親会となりました。



総会の様子



ふすま同窓会総会・懇親会 参加者の記念撮影

令和元年度地域教育文化学部同窓会 母校創立141周年祝賀行事

10月14日（月・祝）山形市のホテルキャッスルにて「山形大学地域教育文化学部同窓会母校創立141周年祝賀行事」が開催され、出口毅副学長、大森桂地域教育文化学部長等の来賓のほか、校友会事務局から樋口浩朗事務局長が出席しました。

祝賀行事には、「卒50年会員」「卒30年会員」のほか多くの来賓が出席し、高橋信弥氏（昭39卒）への特別表彰、6名の方への叙勲祝賀のあと、渋谷光夫会長が式辞を述べられました。

引き続きの懇親会では、恩師が紹介されたあと、地域教育文化学部4年の杉山夏南さんのピアノ独奏が披露され、最後は山形県民歌「最上川」を全員で合唱し、盛会のうちに閉会となりました。



乾杯



祝宴の様子

米沢工業会（工学部）



米沢工業会山形支部総会



懇親会の様子

令和元年度米沢工業会山形支部総会

7月20日（土）、山形市の「山形グランドホテル」にて「令和元年度米沢工業会山形支部総会」が開催され、校友会から樋口浩朗事務局長が出席しました。

総会に先立ち、工学部OBの平野芳則氏（日産自動車株式会社パワートレイン・EV技術開発本部技術顧問）が「CO₂削減を支える性能開発技術の革新」をテーマに講演、EV技術の最前線を学びました。

総会には来賓を含め100名超が参加し、稲毛健一支部長の議事進行で平成30年度事業報告、令和元年度事業計画案・予算案等が審議・了承されました。

引き続き開催された懇親会では、出口毅副学長、飯塚博工学部長の来賓挨拶のあと乾杯となり、山形大学チアダンスサークル「Cherries」のダンスパフォーマンスもあり、大変華やかな会となりました。

鶴窓会（農学部）

令和元年度鶴窓会関東支部総会・講演会・懇親会

6月9日（日）、東京田町の山形大学東京サテライトにて「山形大学鶴窓会関東支部総会・講演会・懇親会」が開催され、校友会事務局から樋口事務局長が出席しました。

総会には来賓を含め35名が参加し、眞嶋敏晴会長の挨拶、齋藤博行鶴窓会会長の来賓挨拶で始まり、平成30年度事業報告、同決算報告、令和元年度事業計画（案）等が審議され、承認されました。

引き続き、農学部の林田光祐学部長が「新しい時代の山形大学農学部の教育・研究と地域貢献」について講演を行い、活発な質疑応答がなされました。

懇親会では、山形の銘酒やさくらんぼをいただきながら、盛会のうちにお開きとなりました。



懇親会の様子



鶴窓会関東支部 参加者の記念撮影

山形大学大学歌

作詞：石先 麻美・難波 千鶴
作曲：大谷 靖夫
編曲：中村 康就

山形大学大学歌は、平成21年に創立60周年を記念し、歌詞の募集を行い、当時地域教育文化学部4年在学中の石先麻美さんと難波千鶴さんの作品が選ばれました。作曲は山形市出身の作曲家大谷靖夫氏に依頼し、平成22年3月に本学大学歌として制定されました。

※この事業は校友会の支援により実施されました。



大学歌
ダウンロードは
こちら

大学のホームページからも
ダウンロードができます。

1 春風に 希望のをせて
桜の光 仰ぎ見る
若葉の緑 きらめいて
力みなぎる 若き瞳
決意を胸に 手をつなぐ
我らが学び舎 山形大学

2 知を深く 真理を求め
語りあかそう 集い来て
星のまたたき 想い馳せ
学びを拓く 強き瞳
己を信じ 進みゆく
我らが学び舎 山形大学

3 はるかなる 未来を照らし
流れる川の 絶え間なく
日々を彩る 雪模様
次代を担う 明き瞳
夢を抱いて はばたこう
我らが学び舎 山形大学

山形大学学生歌「みどり樹に」

作詞：菅原 威
作曲：橋場 富蔵

山形大学学生歌「みどり樹に」は、昭和33年全寮々歌として現在でも永く歌い継がれている学生歌です。

宮下(旧姓・菅原)威さんの作詞、「歌いやすい旋律」をめざして作曲されたのは橋場富蔵さん。お二人とも旧教育学部の卒業生です。

※「山形大学大学歌」と学生歌「みどり樹に」は、YouTubeでもお聴きいただくことができます。

1 みどり樹に 風がながれるように
さわやかな 若人のうたごえ
遠く海を越えて
世界の果まで ひびくよ
われらの歌う 口唇に
友情の血潮は あふれる

2 大地から 草が萌えるように
たくましい 若人の生命は
高く峯を越えて
世界の果まで のびゆく
われらの輝く ひとみには
平和のねがい みなぎる

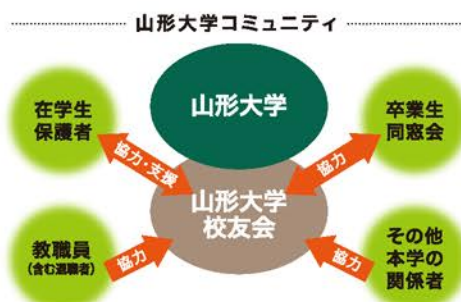
3 大空に陽が 輝くように
かぎりない 若人の夢は
はるか雲を越えて
世界の果まで とどくよ
結んだ腕で 新しい
未来を築く われらよ

校友会への入会案内

山形大学校友会に未だ加入されていない 卒業生の皆さまへ(お願い)

校友会は、学生の修学、課外活動及び就職活動並びに全学的な交流活動の支援を行うと共に、会員相互の親交を図り「山形大学コミュニティ」の醸成や強化に資するために様々な事業を展開しています。具体的な事業は、会報に掲載しているとおりですが、これらの事業は、在学生、卒業生、役員、教職員及び本会趣旨賛同者の生涯会費(1万円)で実施しています。

ついで、多くの皆さまにご加入をお願い申し上げます。会員(除く入学時加入会員)の方には、定期的に校友会会報や大学の様々な広報誌を送付しています。



入会申込手続き: 払込取扱票に必要事項をご記入の上、『郵便為替』により生涯会費1万円をお振り込みください。(払込取扱票は、校友会事務局にありますので、ご連絡ください。)

入会日: 会費の納入により入会となります。

メルマガ発信のお知らせ及び 山形大学や学生への 応援メッセージ寄稿のお願い

- 校友会では、メールマガジン「みどり樹通信」を毎月配信し、山形大学や校友会に関する情報を提供しています。メールマガジンは、校友会ホームページ上から簡単に申し込みができます。
- 卒業生の皆さまからの寄稿を広く募集しています。山形大学や在学生への応援メッセージ、学生時代の思い出など何でも結構です。

メールマガジン

■山形大学校友会メールマガジン登録

「山形大学校友会メールマガジン」への登録を行います。
入力いただいた個人情報は、メールマガジンの配信のみに使用し、他の目的には使用いたしません。
山形大学校友会における個人情報の取扱いについては、「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。
上記内容について同意いただき、下の登録ボタンからメールマガジンの登録を行ってください。

同意して登録

※ご寄稿いただける場合は、校友会事務局までお知らせください。

編集後記

新型コロナウイルス感染防止のため、キャンパス内に学生さんの姿が見えず、さみしい前期となりました。

後期は対面授業も開始され、賑やかなキャンパスになることを期待します。

それにしても早く普通の生活に戻りたいですね。

(事務局次長 鈴木 直克)

山形大学エンrollment・マネジメント部 山形大学校友会事務局

〒990-8560 山形市小白川町1丁目4-12

TEL:023 (628) 4867 FAX:023 (628) 4185

E-mail:ykouyu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

〈校友会ホームページ〉<https://www.yamagata-u.ac.jp/ykouyu/>



校友会 HP



Twitter



Facebook



Instagram